

医学部・附属病院のホームページリニューアルと医学部からの情報発信の今後

八 谷 寛 大 磯 ユタカ

<特徴・コンセプト>

平成 18 年 7 月 1 日にリニューアルした医学部ホームページ（図 1）の特徴・コンセプトを図 2 に示しました。すなわち、

1. 情報源による直接のコンテンツ更新，それを裏付ける容易な入力システム
2. 情報源をホームページ管理担当者として選任し，HP 更新用のパスワードを発行，24 時間いつでもタイムリーに更新
3. 閲覧者を意識した内容，わかりやすい情報配置
4. 統一フォーマット，共通項目に準じた全部署の紹介
5. 学内ページの充実により，学内情報の蓄積，可視化，共有



図 1 トップページ意匠にはダヴィンチの Vitruvian Man

リニューアルのコンセプト



図2 リニューアルのコンセプト

<情報源入力システム>

情報源入力を実現するために、「ホームページ管理担当者」を選任することとしました。これは、所属紹介のようなページについてだけではなく、医学系研究科の運営・将来構想ページは総務課、入試関連であれば学務課、入院手続きは医事課というように、各ページに対して、研究者、事務職員を問わず、そこで公開する情報を直接扱う者をそのままホームページの管理担当と位置づけました。ホームページ管理担当者には、コンテンツを更新するためのIDとパスワードを発行し、24時間いつでも自由に更新が可能になりました。図3にログイン画面を示します。ログインすると、更新権限のあるページが一覧・選択できます(図4)。不適切な更新が行われる危険性も考慮しログ管理、バックアップ機能を有しておりますが、今のところ通常の運用ができております。また、定期的な更新を促すために、指定した更新期限にしたがってHP管理担当者に更新依頼メールが自動的に配信されます。

類似の情報がすでに収集されている場合は、その利用を促進しました。例えば、研究分野紹介ページにおける各研究者紹介は全学の研究者統合データベース(教員プロフィール)をリンクさせました。研究業績は、附属図書館が収集する欧文業績集をリンクさせることとしました。

研究室、診療科、部門紹介ページでは標準的な入力項目を定め、分野や科等の別によらず閲覧者が一定の情報を得られるようにし、これらの入力を必須のものと位置づけました。

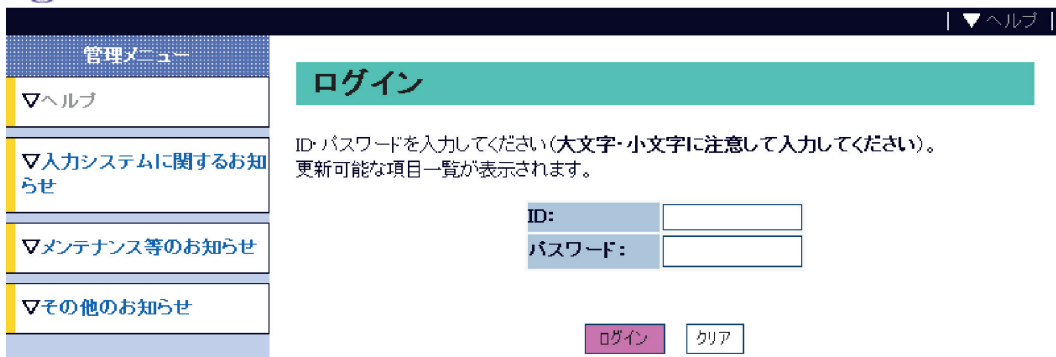


図 3 公式ホームページ管理画面へのログイン画面

更新可能ページ一覧

入力されたID・パスワードに許可されている更新ページは以下の通りです。
更新を希望する項目をクリックして下さい。

- 健康社会医学専攻
公衆衛生学/医学ネットワーク管理学ページ更新
- ログ管理
- 更新担当者データ編集
- Program in Health and Community Medicine
Public Health/Health Information Dynamicsページ更新

該当 ID にのみ更新権限が与えられている固有の項目

- 教職員募集(医学部)ページ更新
- 名簿
医学部・大学院医学系研究科ページ更新
- お知らせ
学会・研究会のお知らせページ更新
- 医学部サイトWhat's newページ更新
- 職員募集(附属病院)ページ更新
- 名大病院グラフィティページ更新
- 附属病院サイトWhat's newページ更新
- 重要事項掲示板ページ更新

管理担当者全員に更新権限が与えられている共通項目。

図 4 更新するページを選択する画面

ログイン後に、更新可能なページ一覧が出現し、目的のページを選択し更新作業を行います。

<わかりやすい情報配置>

図5に、リニューアルサイトで用いている統一なページレイアウトの一例を示しました。



図5 ページフォーマットの例

① 医学系研究科，附属病院のサイト内検索には Google を用いました。また学内専用ページについては Namazu 検索を用いています。サイト内検索によって目的とするページへすばやく行くことができます。

② 自分がサイト内のどこにいるかわかるリスト：ページ上部には、「トップページ>>医学部の紹介>>学部長・研究科長>>あいさつ(メッセージ)」のように、自分が閲覧しているページとともに、その上位にあるページが何かを表示し、それらのページへの移動を可能としています。

※さらに、視覚障害等のある閲覧者が音声読み上げソフトを利用しやすいように情報が保存されています。印刷時は、目的としているページのみが印刷され、フレームは省略される仕様になっています。

自分が閲覧しているページがわかるリスト，サイト内検索用検索窓，メインメニューや閲覧者タイプ別サブメニューを装備しています。図6には医学系研究科，図7には附属病院トップページのレイアウトを示しました。研究科ページには，研究成果を積極的に公開すべく「研究トピックス」欄を新設し，プレスリリース等を紹介することとしています。また附属病院ページは，患者さまを閲覧者の第一に据え，種々の情報を配置することとしました。トップページのWhat's New 欄には，各ページの管理担当者が必要と判断した場合，更新情報を簡単に掲載することができます。トップページには，利用頻度やニーズが高い，研究室，診療科，中央診療部門等紹介ページへの直接リンクを配置しました。



図6 医学系研究科トップページ

- ③ 研究成果を積極的に公開すべく「研究トピックス」欄を新設し，プレスリリース等を紹介。
- ④ 各ページの担当者が必要と判断した場合，What's New に更新情報を簡単に掲載することができます。
- ⑤ 医学系研究科トップページには，利用頻度が高い各研究室紹介ページへの直接のリンクを配置。研究室や研究者は検索しやすいように五十音からの選択も可能。

研究者紹介は、情報の二重入力を避けるため、全学研究者統合データベース（教員プロフィール）へリンクするよう設定。

名古屋大学医学部附属
NAGOYA UNIVERSITY HOSPITAL

① サイト内検索

● サイト内検索 検索

名古屋大学医学部
ENGLISH

| トップページへ戻る | サイトマップ | サイト運営方針 | 旧病院HP |

メインメニュー

- ⑦ 病院のご紹介
- 患者さまへ
- 病院かわらばん
- 職員募集
- ボランティアについて
- リンク集
- 交通アクセス
- 院内のご案内
- 名大病院グラフィティ

外来担当医表
患者さまをご紹介いただく先生方へ
医学部附属総合医学教育センター
(旧卒後臨床研修センター)
〒466-8550
名古屋市昭和区鶴舞町65番地
TEL 052)741-2111
FAX 052)744-2785

医学生の方へ

医療関係者の方へ

④ What's New

What's New

2006年06月30日
2006年06月12日
2006年05月31日

後期/専門研修医(レジデント)の募集について
平成19年度名古屋大学医学部附属病院医員(研修医)の募集について
看護職員緊急募集

⑥ 診療科、中央診療部門等紹介のリンク

診療科案内

血液内科	産科婦人科	神経内科
循環器内科	眼科	呼吸器外科
消化器内科	精神科	心臓外科
呼吸器内科	小児科	形成外科
糖尿病・内分泌内科	皮膚科	小児外科
腎臓内科	泌尿器科	予防医療部
血管外科	耳鼻咽喉科	在宅管理医療部
移植外科	放射線科	総合診療部
消化器外科一	麻酔科	親と子どもの心療部

図7 附属病院トップページ

- ⑥ 附属病院トップページにも、利用頻度やニーズが高い、診療科、中央診療部門等へのリンクを配置しました。
- ⑦ 附属病院ページは、患者さまを閲覧者の第一に据え、種々の情報を配置してあります。

<附属病院ホームページ：よくある質問>

情報源入力の仕組みをいかして、「よくある質問」というコーナーを設けました(図8)。これは日常臨床業務において患者さま・ご家族などから寄せられるよくある質問とそれに対する回答のセットを掲載するページです。よくある質問を作成するには、各部門紹介更新ページの中にある同名の項目へ質問と回答をペアで入力するだけです。各部門の入力内容が自動的に集められて表示される仕組みになっています。実際に質問を受ける部門において、その質問とそれに対する

回答を収集、適時掲載することができるので、従来の方法に比べ随分と効率的です。

よくある質問	
よくある質問	
病院	中央診療施設・部門
病院として患者さまよりよく受ける質問を掲載しています。	医療経営管理部
	医療安全管理部
	検査部
	手術部
	放射線部
	材料部

図 8 よくある質問公開画面

<診療科紹介>

各診療科の紹介では、治療対象疾患や特記すべき治療技術についても公開することとしています（図 9）。HP は、通常、患者自らが情報を得るためにアクセスするものと解釈され、現時点では医療法の広告規制の対象として取り扱われていないようですが、虚偽・誇大表現など信頼性に欠ける情報や、専門家にしか理解できないような表現や専門用語の多用を避けるためのガイドライン作成の動きもあり、それらに準じていく必要があります。外来担当医表も、各診療科でタイムリーに自由に更新できるものとなっています。休診や代診の設定方法についてなど改善の余地が指摘されており、また CHART システムとの連携や二重入力など重複を回避する運用方法についても検討中です。

<学内ページの充実>

今回のリニューアルでは、医学部・附属病院の構成員間の情報共有のためのツールとしての学内ページの充実をも目指しました（図 10）。事務部紹介（図 11）や委員会紹介ページ（図 12）を含む学内ページには便利かつ重要な情報が日々蓄積されつつあります。例えば、事務部の各掛の主たる業務や電話番号の掲載、様式などのファイルダウンロード機能や FAQ（Q&A）、事務連絡用掲示版などの機能が利用されつつあります。また、鶴舞キャンパス内には医学部・医学系研究科、附属病院に関するものだけでも 100 以上の委員会が林立しています。しかし、どの委員会が、どのような目的で活動しているのかについて全体像を把握するのは極めて困難です。そこで、各委員会の概要、連絡先、委員構成などを掲載するスペースを準備し、それらも徐々に充実してきております。HP によって学内の種々の情報が可視化されていくことは、構成員の意思疎通を良好にするための重要な一歩であると考えています。

臨床試験の実施の有無、対象、内容

1. タキサン系薬剤抵抗性乳癌に対する塩酸イリノテカンの有用性と安全性の検討 - Phase II study -
2. アロマターゼ阻害剤による術後補助療法後の再発乳癌に対する高用量トレミフェンの検討HER2過剰発現を呈する進行乳癌に対するドセタキセルとトラスツズマブ併用療法の検討 (TBCRG-01)
3. ホルモン受容体陽性かつHER2過剰発現の転移・再発乳がんを有する閉経後女性におけるエキセメスタンとトラスツズマブの併用第二相試験(TBCRG-02)
4. ホルモン感受性閉経後乳がん術後補助療法におけるエキセメスタン、アナストロゾール、タモキシフェン投与のランダム化比較試験(NSASBC04)

特記すべき治療技術

乳癌については、マンモトーム生検や放射線科と協力してRVSなどの最先端の画像診断技術を駆使して正確な術前診断、切除範囲の決定を可能としています。乳房温存手術が乳癌症例の半数を占めていますが、術前画像診断を正確に行うことは、無理な乳房温存手術を実施して再発をきたす危険を回避できることにつながります。乳房温存を希望されても温存手術ができない患者様には乳房切除術と同時に乳房再建手術(形成外科に依頼)を受けられることをおすすめしています。ラジオアイソトープを用いたセンチネルリンパ節生検を実施しています。術後補助療法および再発乳癌においては最近開設された外来化学療法部と合同カンファレンスを開催して最適な治療法を検討しています。

外科的副腎疾患は、原因により治療法がまったく異なりますが、昭和30年代からの蓄積された豊富な臨床実績をもとに、患者様の病態に適した治療法を選択しております。最近では90%の手術が腹腔鏡により可能となっています。

外科的甲状腺、副甲状腺疾患は、癌であっても多くが緩徐な経過をたどるため、手術後のQOLが悪くならないすなわち手術による後遺症が残らない、かつできるだけ根治的な結果が得られる治療法を開発しております。

すべての疾患でクリニカルパスを導入し、標準化された治療が実施できるような体制を整えています。

当科の目標

チーム医療を行うこと

最新の治療法を提供できること

臨床試験、探索的治療の提供など、大学病院としての使命を果たすこと

図9 診療科紹介ページの一例

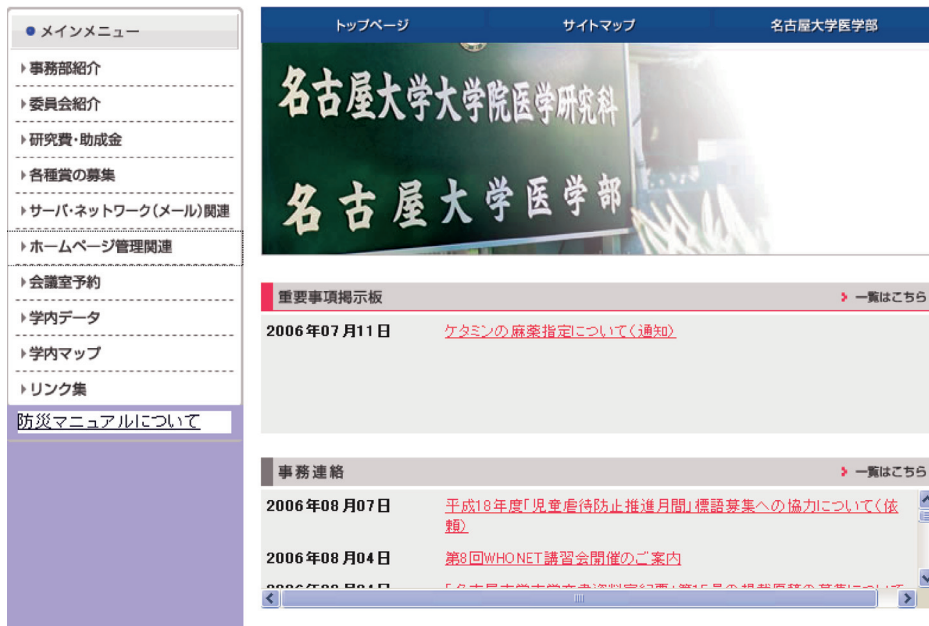
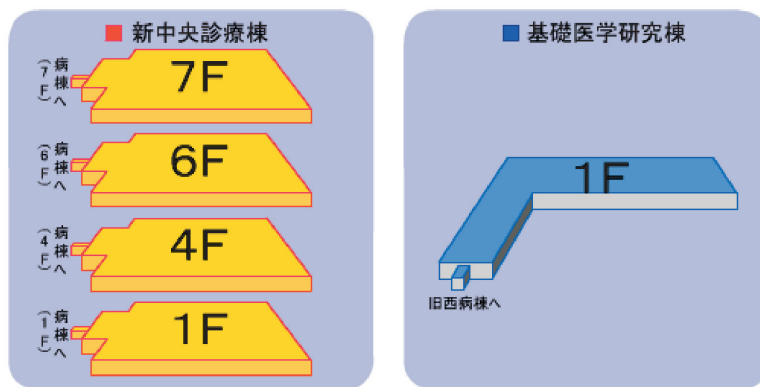


図 10 学内専用トップページ

事務部紹介



- 総務課
 - 総務企画掛
 - 総務第一掛
 - 総務第二掛
 - 人事掛
 - 職員掛
 - 安全衛生掛

- 学務課
 - 学務第一掛
 - 大学院掛
 - 臨床研修掛
 - 動物実験施設掛

図 11 事務部紹介メニュー

棟内地図をクリックすると、Flashによって事務部の場所が詳細に表示されます。

委員会紹介

委員会紹介

- 医学部 教授会
 - ↳ 研究科教授会
- 医学部 企画運営会議
 - ↳ 医学部 研究科医学・運営協議会
 - ↳ 医学部 学部教育委員会
- 医学部 医系施設整備推進委員会
 - ↳ 医学部 2号館新築専門委員会
 - ↳ 医学部 施設点検評価専門委員会
- 医学部 目標・計画委員会
- 医学部 組織・運営委員会
- 医学部 財務・会計委員会
- 医学部 人事・労務委員会
 - ↳ 医学部 基礎系教官専門委員会
 - ↳ 医学部 臨床系教官専門委員会
- 医学部 自己点検・外部評価委員会
 - ↳ 医学部 研究科医学・部会

図 12 委員会紹介メニュー

(やつや ひろし：名古屋大学大学院医学系研究科公衆衛生学／医学ネットワーク管理学)

(おおいそ ゆたか：名古屋大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科)